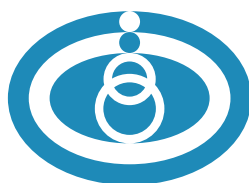


「想い虹」基金

令和4年度 事業報告



岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

1870

病院長からのメッセージ



岡山大学病院は、患者の皆様へ「高度な医療を優しく提供する」という理念をにかけております。そのために安全で公正な医療を実践し、温かく優しい心を育む病院環境づくりに努めております。

皆様方の温かいご寄付「想い虹」は、岡山大学病院の移植医療をはじめとする先進的な医療の推進、すべての患者さんが安心して安全な治療を受けることのできる療養環境の実現、ならびに医療従事環境の整備に役立たせていただきます。

皆様方からの温かい「想い」に心から感謝を申し上げます。

岡山大学病院長 前田 嘉信



「想い虹」とは…

皆様方の「想い」の一つ一つが紡がれて“虹の架け橋”となり、これからの治療を受けられる患者の皆様への“助け”となりますように…、という願いが込められています。

令和5年7月に、新たに想い虹ロゴマークを制定しました。新しいロゴには、『一人ひとりがお互いを想う気持ちが、暖かな陽光となり、涙の後には虹がかかる。想い虹が、助けを必要とする方々を照らす希望の光となりますように…』との思いが込められています。

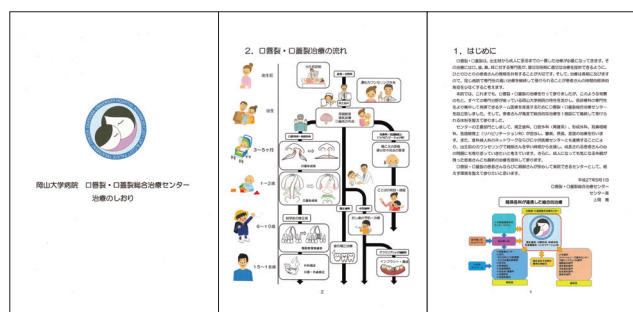
皆様方からのご寄付は、岡山大学病院における先進医療推進事業、患者療養環境整備事業、医療従事環境整備事業、革新的研究等推進事業、医療人材育成事業等のために大切に活用させていただいております。令和4年度の事業をご紹介します。

寄付活用事業 ①

患者療養環境整備事業

口唇裂・口蓋裂の患者・家族向け冊子等の作成

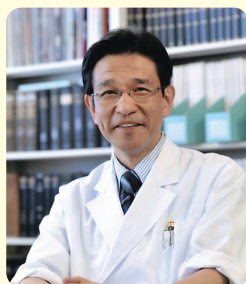
口唇裂・口蓋裂総合治療センター



事業概要

口唇裂・口蓋裂の治療に関わる医師・歯科医師・言語聴覚士等による総合的かつ専門的な治療の概要を、患者さんの立場で分かりやすく伝える内容で、本冊子の活用により、口唇裂・口蓋裂の患者さん、ご家族の心理的負担を軽減し、療養環境を整えることを目指しています。

メッセージ



この度は岡山大学病院の想い虹基金にご寄付をいただき誠にありがとうございます。口唇裂・口蓋裂総合治療センターでは、皆様方からのご支援を基に、当センターを受診する患者さんとその家族向けに、治療の概要をまとめた冊子等を作成いたしました。この冊子は、口唇裂・口蓋裂の治療に関わる医師・歯科医師・言語聴覚士等による総合的かつ専門的な治療の流れについて、患者さんの立場で分かりやすく伝える内容で、初診時や治療中の患者さんへの説明に使用しています。本冊子の活用により、口唇裂・口蓋裂の患者さん、ご家族の心理的負担を軽減し、療養環境を整えることが可能となりました。あらためまして、皆様方からのご支援に心より感謝申し上げます。今後とも当センターの活動にご支援をいただければ幸いです。

矯正歯科 教授 上岡 寛

寄付活用事業 ②

患者療養環境整備事業

ホスピタルアート 小児科病棟（東2階）



事業概要

小児病棟（東2階）の通路に、現代美術家・西山美なコさんのデザインによるホスピタルアートを施工しました。ゾウやキリンといった動物と樹木をモチーフにしたデザインで、冷たい印象のある鉄扉やドアの色・形状をそのまま利用して、樹の幹や曲線を描くことで柔らかい印象や動きと広がりを出しています。また、小さいお子さんや車椅子など低い目線で見ると方に配慮して、手すりに動物が乗っているようにデザインされていたり、ストレッチャーで移動する人の視界にも入るよう、天井部分に動物が隠れて覗いているような工夫がされています。

メッセージ



ホスピタルアートが導入されたことで、子どもたちの笑顔が増えたと実感しています。これまで外出できない子どもたちは何もない院内の廊下を散歩していました。ホスピタルアートが完成してから、動物探しの散歩が増え、通路に立ち止まって動物を探したり、撫でたりする子どもの姿が見られるようになりました。子どもたちからは「動物が可愛かった」「楽しそうだった」等、嬉しい感想が寄せられています。保護者、スタッフからは気持ちが和むと好評です。入院して治療を頑張る中で様々な思いを抱えた子どもたちの気持ちが和らぎ、病院でも明るく楽しい気持ちになれるような場所ができたことを嬉しく思います。この度はご支援いただき、ありがとうございました。

病棟保育士 遠藤 佳央

寄付活用事業 ③

医療人材育成事業

感染管理認定看護師教育課程受講



事業概要

感染管理認定看護師とは、感染対策における研修を受け、高度な専門知識や実践力を有すると看護協会から認定を受けた看護師で、院内の医療関連感染サーベイランスの実践や自・他施設の感染対策の状況の評価・分析、感染予防・管理システムの構築などを担当しています。新型コロナウイルス感染症対策だけでなく結核や麻疹（はしか）、などあらゆる感染症から患者さんと職員を守る活動をしています。



メッセージ



今回受講させていただいた研修で貴重な体験や学習ができ、大切な仲間にも恵まれました。感染対策とは何のために、誰のためにする対策なのか、改めて考える機会を与えていただきましたことを、深く感謝申し上げます。「院内の職員や患者さんをあらゆる感染症から守りたい！」の一心でこれからも感染管理活動に従事していきたいです。また地域の中核病院である岡山大学病院の看護師として、地域に少しでも貢献できる活動に取り組み、幅広く恩返しをしていきたいです。

感染管理認定看護師／副看護師長 藤田 泰嗣

「想い虹」寄付のお申し込み方法

● 現金持参によるお申し込み

所定の「寄付申込書」に必要事項をご記入のうえ、受付時間（８：３０～１７：００）内に医科外来棟１階６番窓口「収入係」または入院棟１階「入退院センター」にてお申し込みをお願いいたします。

※「寄付申込書」は、総合受付収入係または入退院センターにて配布しているほか、岡山大学病院ホームページからもダウンロードいただけます。

● 振込依頼書によるお申し込み

所定の「寄付申込書」に必要事項をご記入のうえ、受付時間（８：３０～１７：００）内に医科外来棟１階６番窓口「収入係」または入院棟１階「入退院センター」にてお申込みいただくか、下記問い合わせ先に記載の、研究推進課研究支援・推進グループ総務担当へ送付願います。

※「寄付申込書」は、総合受付収入係または入退院センターにて配布しているほか、岡山大学病院ホームページからもダウンロードいただけます。

● ウェブサイトからのお申し込み

岡山大学病院ホームページからお申し込みいただけます。

岡山大学病院ホームページ <「想い虹」寄付のお願い>

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index17.html>

ウェブサイトからのお申し込みについては、下記のお支払方法によりご寄付いただけます。

- クレジット決済
- コンビニ決済
- ペイジー決済（インターネットバンキング決済）



一定額以上ご寄付いただいた皆様のご芳名を、
院内で公表させていただいております。（公表を希望される方のみ）

寄付に関する
問い合わせ

研究推進課 研究支援・推進グループ総務担当

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL：086-235-7982 メール：kensui-soumu@adm.okayama-u.ac.jp



岡山大学病院

OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/>

岡山大学病院

検索

